

2024年度 JFA公認D級コーチ養成講習会 開催報告(1/3)・開催経緯

あなたはどのような指導者になりたいですか、そのために何を学びたいですか

- 期日：2024年4月14日
- 場所：重兵衛スポーツフィールド中台、体育館会議室/球技場
- 主催：日本サッカー協会
- 主管：千葉県サッカー協会、■協力：成田市サッカー協会（総務、女子部）
- 県協会 チューター（講師）：鈴木茂雄、青葉幸洋
- 市協会：濱田（総務部門長）、前梶（総務部長）
- 江角（参事/広報兼任）、山田（理事・女子部）、篠塚（総務）、安井（総務、女子部）



参加者は成田優先枠無しで公募した事もあり、千葉県在住17名（成田地区2名）の他、県外から東京都11名、神奈川県1名、茨城県10名の計39名となりました。

＜経緯＞2008（H20）年に県協会指導部への協力の形で始まったこの講習会も17回目を迎え、改定時期にもあたり内容も刷新され日程も1日間のみ、その内容での今年度県内初開催の講習になりました。千葉県内でも限られた開催回数の講習会を成田地区で開催する事で、加盟チーム及び近隣のサッカー界にも寄与できる目的でもありながら、近年は成田地区以外からの参加が多くなっています。



青葉チューター



鈴木チューター

■座学：開校ガイダンスでの講義（鈴木チューター）



■実技：テクニック（1対1） ■様々なゲーム『今のプレーは何に意識してる？』問いかげが止まず



■実技：身振り手振り交えてわかりやすく（鈴木チューター）



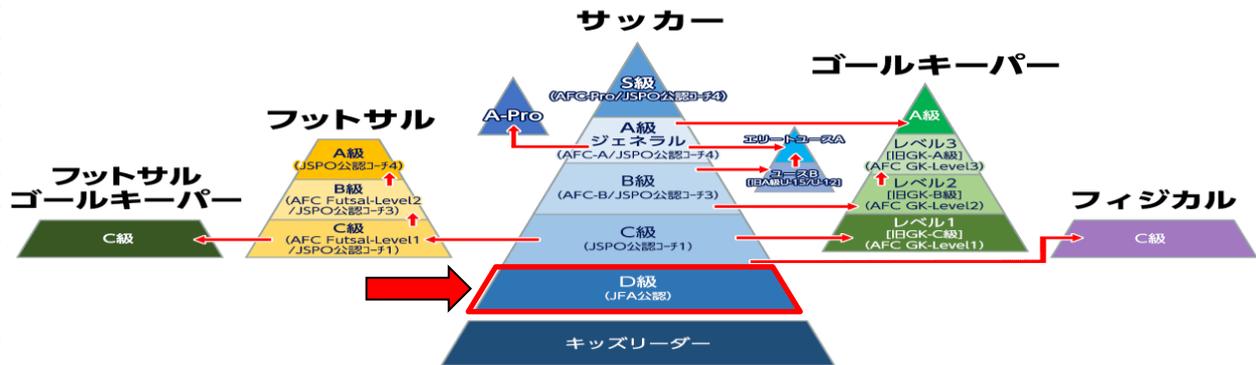
■実技：テクニック（シュート）

2024年度、JFA公認D級コーチ養成講習会 開催報告(2/3)・講習スケジュール他

<日程> ■※改定によりセーフゲーディングが新しく加わり、日程も1日間に集約されました

4月14日 (晴れ)	9:00	開校式	ガイダンス/JFAのセーフゲーディングビデオ他(30分)	鈴木	体育館会議室
	9:30	実技	アイスブレイク、ゲーム:様々なゲーム(60分)	青葉	球技場
	10:30	実技	テクニック:シュート・パス他、まとめのゲーム(60分)	鈴木/青葉	球技場
	12:00	昼食	※成田開催恒例 豚汁の振る舞い		
	13:00	座学	ディスカッション:実技振り返り、大人との関り、メディカル(30分)	鈴木/青葉	体育館会議室
	~	座学			体育館会議室
	13:30	座学	セーフゲーディング(90分)	鈴木	体育館会議室
	15:00	座学	まとめ(30分)	鈴木	体育館会議室
	15:30	閉校式	閉校式ガイダンス(終了証授与)	青葉/鈴木	体育館会議室

サッカー指導者ライセンス体系図 (JFA HPより)



セーフゲーディング:今回から新たに組み込まれました(JFA HPより)

【目的】子供達のサッカー、スポーツを安心安全に楽しむ権利とその環境を守るための取り組み。

**関わる私たち全員で守る！
サッカーでの安心・安全・そして笑顔**



座学: JFAセーフゲーディング

■このテーマでのディスカッションでは、活発な意見交換がなされました。

- ・楽しくさせたい幸せにしたい、あなたやあなたの大切な人は守られなければならない。
- ・不平等や自尊心を傷つける事はしない、またそれを許してはいけない。

知っていますか? 「JFAセーフゲーディングポリシー」

基本原則
子どもたちの安心・安全を守る

1. 子どもたちの喜びを広げ、成長を促す環境をつくる
2. 子どもたちに選択権を与える
3. 子どもたちの声を聞き、対話する
4. 子どもたちの安心・安全を守る
5. 健康や環境リスクに対処する

私たちが許さない

6. あらゆる暴力・暴言を排除する
7. あらゆる差別を排除する
8. あらゆるハラスメントを排除する
9. あらゆる誹謗中傷を排除する
10. 子ども同士の問題にもアプローチする
11. サッカー以外の問題にも気づく
12. 負の連鎖を断ち切る

そのためにも

13. 適切な人が子どもたちに関わるよう取り組む
14. 子どもたちを守るためにも、誰かに子どもたちを助ける大人の声も、安全を守る
15. 起こったことへの対応とともに、予防・教育を重視する
16. 現場をオープンに、リスクの芽に気づき、声を掛け合う、伝え合う文化をつくる

そしてこれは

17. ファミリー全員の役割・責務であり、全員が当事者意識を持つ必要がある
18. 定期的な現状や手帳を評価し、状況の変化に応じてアップデートする必要がある



■終了証の授与:今回改定からD級は筆記試験なし

【受講者感想】JFA公認D級指導者講習に初めて参加して、普段、選手を見る立場から選手として参加する形になり、改めて正しい振る舞い・態度・行動ができる指導者にならなければいけないと感じました。

また、「指導者は選手の未来に触れている」の言葉のようにJFAの2050年までにFIFAワールドカップを日本開催、その大会で日本代表が優勝するという目標に携わるかもしれないというジュニア世代の育成指導が本当に大切だと思いました。

セーフゲーディングでは、子供たちが安心、安全に楽しむためにプレイヤーファーストで取り組んでいるのが大事であり、全指導者が正しい指導とは何かを考えて接することが大事で、望ましくない行為や言葉の暴力をしてはならないと再認識いたしました。

今後に学んだ事を活かして指導していきたいと思います。また、成田市サッカー協会の皆様、素晴らしい環境で受講と成田開催名物・豚汁の振る舞いありがとうございました。井山翔太氏筆



受講者:井山翔太氏(三里塚FC)と青葉チューター

2024年度、JFA公認D級コーチ養成講習会 開催報告・写真(3/3)



■実技：成田開催は毎年春にこの環境で開催してます。今回も千葉県以外からも多数参加がありました。



■青葉チューター（講師）



■アイスブレイク：ジャンケン→負け組おんぶで打ち解ける



■実技：テクニック(1対1)



■実技：ゲーム(10対10)



■実技：キック・パス(いろいろなパターンを取り込んで)



■実技終了：クールダウン



■成田開催名物：豚汁の振る舞い